

平成22年度全国麦作共励会における九州農政局管内からの受賞者の紹介

平成22年度全国麦作共励会中央審査が、平成22年12月22日、東京都内で開催され、全国98点の参加の中から厳正な審査により農林水産大臣賞、全国米麦改良協会賞など10点の受賞者が決定しました。

このうち、九州農政局管内からは以下の農家、集団が受賞しましたので、その経営の概要等についてご紹介します。

1. 農家の部

○受賞名

全国米麦改良協会会長賞

○受賞者の住所・氏名

さがけんさがしもろどみちょうおおあざとくとみ とくなが ゆきお
佐賀県佐賀市諸富町大字徳富 徳永 幸雄 氏

○農家の経営概況

徳永氏は、諸富町の水田地帯において、地域農業の担い手として土地利用型作物(米・麦・大豆・イチゴ)経営を行っています。また、諸富地区で平成13年度より実施されているブロックローテーションに取組み、土地利用の効率化を図っています。

○麦の作付概況

本人、妻、両親の4人で作業毎に役割を分担し、1,350aに作付を行い、作業の分散による効率化と品質の向上を図るために、670aに小麦「チクゴイズミ」、680aに大麦「サチホゴールド」の作付をし、土地利用率は200%と米・麦・大豆二毛作による農地の高度利用に取組んでおり、機械化作業一貫体系の確立により品質の向上を前提とした効率的生産体制を図っています。

○技術面の特色

労働時間の軽減において、特に、自作の折りたたみ式3連ローラ(4.5m幅)を使用し踏圧時間を約1/3に軽減しています。

○今後の取り組みについて

単位収量の向上と良質麦の生産に取組むため、地区生産組合での共同作業にも取組み、生産コストの低減を図り、麦作経営の安定化に努めます。

2. 集団の部

○受賞名

全国農業協同組合連合会会長賞

○受賞集団の住所・名称

おおいたけんくにさきしくにさきまちはる やまがきえいのうくみあい
大分県国東市国東町原 農事組合法人 山吹営農組合

○地域・集団の概況

当集団が所在する国東町原地区では主たる担い手となる認定農業者等が作業集積を行う形で営農が行われていました。

しかし、平成17年に主たる担い手が高齢化により農地の維持管理が困難となったため、平成18年1月に集落説明会を行い集落営農組織作りのコンセンサスを得た後、同年9月15日に農家戸数29戸を構成員とする農事組合法人 山吹営農組合を設立し法人登記が行われました。

○麦作の概況

法人設立当初は7.0haであった経営面積は、隣接する構成員の水田等の利用権設定を積極的に進め、現在では設立当初のほぼ倍となる13.8haまで経営規模を拡大しています。また、麦種は醤油用原料として県内で需要の高い小麦ニシノカオリと味噌用原料の裸麦トヨノカゼの2品種の生産を行っています。

○今後の取り組みについて

なお、山吹営農組合では、組合員の熱意と創意工夫により高品質麦の安定生産を実現していますが、さらなる経営発展を目指し、排水対策の徹底と逆転ローターの活用を図り、土壌診断に基づくK分追肥省略、畦畔除去圃場を増やし、作業性の向上に努める等の課題解決に取り組むこととしています。

(お問い合わせ先) 九州ブロック麦作共励会事務局 (九州農政局生産部生産振興課麦作振興係) TEL 096-211-9111(内線4443) FAX 096-211-9745
